

公表日

2026年 2月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 真岡田町教室

保護者等数(児童数) 24名 回収数 15件(割合〇%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	5	0	1	人数を制限しているのでスペースはあると思う。子供たちが満足するスペースであるかは不明。	2部屋あるため、その日お預かりするお子様の特性などを考慮し、スペースを確保できるよう対応している。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	11	0	0	4	その日の職員数が不明なので、出勤している職員が分かるとありがたい。	玄関に掲示してある職員写真に目印を貼る。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1	0	3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	0	1		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1	0	0		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	15	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	1	本人に、統一した声掛けや支援をしてくれている。	職員に一同、利用児一人一人の支援目標、ご家族の意見等を十分に理解し、支援に当たっている。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	3		1	平日は宿題がメインになってしまっている。	高学年になり下校時間が遅くなると、時間が限られてしまうが、少しでもレクに参加出来るよう工夫していくたい。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	0	4	7	・公園で他の児童クラブと交流しているのかもしれないが分からない。 ・個人的には望んでいないので必要ないと思う。	現状、地域の他のこととの活動は難しく、今後取り入れていくかどうかは検討の余地がある。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	1	5		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1	0	0	困っていること等を相談すると、すぐに実行してくれる。	保護者の思い、子どもたちの思いに寄り添い支援していくことを心がけている。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	5	6	・特に必要ないと感じる。 ・長期休暇時に父母で関わるイベントがあると良いかなと思う。	保護者同士の意見交換の場などの必要性を感じているが、場所や時間の確保といった面で、開催は容易ではない。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることにについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2	0	1	学校であった事を報告すると、職員全員で共有し対応してくれる。	何らかの相談、申し出があった際には、迅速に話し合う時間を設け、早期に対応するよう心掛けている。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	2	0	0	送りの際に利用時の状況を教えてくれる。	連絡帳でのやり取りや、送迎時に利用時の様子を伝えている。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	2	0	6	インスタグラムを楽しみにしている。	定期的にSNSを通じて、活動の様子を配信している。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1	0	4	訓練しているかわからない。	契約時に、各マニュアルの概要説明をしている。相談室にてマニュアルを掲示し、常時閲覧できるようにしている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	3	安全教室で様々な話をしてくれて、子どもが交通安全に興味を持った。	利用児は毎月訓練を行うことにより、緊急時の行動が身に付いている。連絡帳への実施報告やSNSでその都度配信し、周知している。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	2	0	0	教室で何かあった際はすぐに電話してくれる。	事故等が発生した場合はすぐに保護者へ連絡し、必要な対応が出来るようにしている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	2	0	0	こばんの利用日ではない日も「こばんに行きたい」と言っているので安心して通っていると思う。	常に「安心・安全」に療育出来るよう、情報共有を密にし、広い視野を持ち努めている。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	2	0	0	・「行きたくない」と言うが、行ったら行つたで「楽しかった」と帰ってくる。・いつも楽しく通わせて頂いている。・学校より楽しそう。・気分によってムラがあるが楽しめている。	通所してくるお子様が笑顔で楽しんで過ごせるよう、日々職員のスキルアップに努める。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	0	0	0	子どもの成長を感じることが出来満足しています。	日ごろから現状に満足することなく、より質の高い支援が出来るよう努めしていく。

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こばんはうすさくら 真岡田町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	・時間で区切りながら外しスペースを有効活用出来るようにしている。	・利用児の年齢が上がってきてている為、狭さを感じることがある。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・利用児状態や状況、相性等を考慮しながら配置している。	・手薄に感じる日もある。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・段差は声掛け等で配慮している。 ・備品の配置等を工夫し環境整備を行っている。	・視覚や段差、トイレの狭さ等バリアフリー化はされていない。また環境的にも難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・加湿器、空気清浄機、サーチュレー ター等で対応。 ・掃除、点検・消毒は毎日行っている。	・窓が少なく、換気不十分を感じる。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3	・パーテーション等で区切り対応している。	・個別で落ちくことの出来るスペースや部屋の確保は難しい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・毎朝打ち合わせを行い情報共有をしている。また日常的にコミュニケーションを取っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・アンケートを実施。意見を研修にて報告し改善に努めている。	・アンケートで意見を頂いた内容でも取り入れることが難しい項目もある。 ・アンケートの回収率が低い。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・朝礼や会議にて実施。意見を出しやすい環境作り。	・勤務年数が長い職員しかいない為、新しい意見が出にくい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5		・行うことが出来ていない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・研修の希望があった際には参加出来るよう配慮している。 ・様々な研修の提示を行っている。	・研修へ参加する職員が固定化されてしまっている。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・作成、公表を行った。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・モニタリングや担当者会議にて話し合いの場を設け、作成を行っている。	・担当者会議がない利用児もいる為、他事業所等の意見をいたたくことが出来ない利用児もいる。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・支援内容を共有し実践出来るよう努めている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・会議やカンファレンス等で情報共有を行っている。統一した支援を行うことが出来るよう努めている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・朝の打ち合わせにて情報を共有。利用時の前日の様子を元に支援を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・家族支援はなるべく保護者の思いを取り入れることが出来るよう臨機応変な対応を心掛けている。	・地域支援や地域連携の必要性は理解しているが取り入れることが難しい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・朝の打ち合わせにて実施。固定化しないよう情報収集に努めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・情報収集や季節の行事等を取り入れながら固定化しないよう心掛けている。	・曜日や職員の人数によっては固定化されてしまうこともある。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・毎月カレンダーを作成し、どの曜日に何個別課題や集団活動、運動支援、製作活動等を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・朝の打ち合わせにて実施。また、記録に残していくでも見返せる状態となっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・朝の打ち合わせにて前日の利用児の様子や保護者からの意見、振り返りが出来る場を設けている。	・その日には行うことが出来ていない。
適	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・打ち合わせの記録だけでなく個別支援の記録も残している。	・個別支援の記録は残すことが徹底されていないことがある。

切 な 支 援 の 提 供	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	・半年に1回実施。	・定められた半年に1回は実施しているが必要に応じては出来ていない事もある。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・絵カードを活用。 ・プリント学習により選択出来るよう支援を行っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・参加前に職員から情報を収集し児発管が参加している。	・児発管以外が参加できる体制を整えていない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	1	5	・保護者を介して医療機関での助言内容を伝達してもらえるようにしている。	・医療機関との関係は築くことが出来ていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	・利用予定表や下校時刻表を受け渡している。	・担任教諭と送迎の度に会える環境でない利用児もいる。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	・保護者を通して情報を共有出来るよう努めている。	・直接やり取りできる場は少ない。 ・相互理解は難しい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	5	・そのような場があった際には参加したい。	・事例がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	・情報収集に努め、参加出来る機会を作ることが出来るよう検討したい。	・機会を設けていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6		・参加することが難しく出来ていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・送迎時、連絡帳、モニタリングや担当者会議等で情報を共有出来るよう努めている。	・モニタリングや担当者会議でしか保護者に会えない利用児もいる。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5		
保護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・モニタリングやアンケート等にて実施。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・支援内容の説明を行い、サインを頂きことで同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	・送迎時や電話、連絡帳、モニタリング等で対応できるようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	・他事業所等から情報を集め、取り組む方法等の助言をいただく。	・行うことが出来ていない。 ・必要性を感じている保護者様が少ない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・苦情があった際には職員間で話し合いを速やかに行い、即日中に対応できるよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・インスタグラムを用いて発信。	・インスタグラムを使用していない保護者への対応は出来ていない。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・十分に留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・利用児に対しては絵カードや視覚支援カードを用いて意思疎通を図ることが出来るよう支援している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6		・行うことが出来ていない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・毎月様々な訓練を実施。インスタグラムにて発信。	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・職員の研修、利用児を含めた訓練の実施。実施後に振り返り、反省点を話し合いをし改善に努めている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	・年に1回アセスメントを取り確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・購入する際に確認し準備する際にも複数の職員で確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・前年度の安全計画を見直したうえで作成。 ・計画に基づいて実施。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・契約時に避難場所を伝えている。 ・日々の訓練はインスタグラム、連絡帳にて発信。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・朝の打ち合わせにて報告、話し合いを行っている。 ・研修に取り入れている。	・報告のみで書面に残していない事案もある。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	・身体拘束は行わない。 ・今後も身体拘束を行わなければならぬ状態を作らないよう支援を行う。	・方法は認知しているが事例はない。